

令和2年度 道徳教育全体計画

山口県立下関中等教育学校

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
その他の関連法規等

学校の教育理念・方針

- 教育理念
地域の特性を生かし、国際化の進展に対応した学校づくり ～飛翔～
- 教育方針
6年間の計画的・継続的な教育活動を通して、生きる力を育み、誇りと自信をもって世界に飛躍する人材の育成を図る。

・時代や社会の要請
・生徒の実態
・保護者や地域のねがい
・教師のねがい

特別活動

学級活動 / LHR

- 集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度を育てる。

生徒会活動

- 自己の言動を検証し、自己改善を図りながら、役割をまっとうする態度を養う。

学校行事

- 道徳教育実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れて道徳教育の実践を図る。集団生活の中で他者とかけあう力を付け、自発的な態度を養う。

道徳教育の目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う。

各教科

- 指導内容・方法の改善、充実を図り、生徒一人ひとりの感じ方、考える力の育成に努める。
- 生徒一人ひとりの個性、能力に応じた指導の展開に努めるとともに、相互に協力し合い、励まし合う学習態度の育成に努める。
- 各教科の指導内容、教材等で、道徳教育に深くかかわるものを通して、道徳性の啓発を行う。
- 見学、実験、観察、グループ学習、共同製作などの学習方法や学習形態を通して、道徳性の啓発を行う。
- 指導する教師の行動や態度を通して、望ましい人間関係のあり方を感化していく。
- 「私たちの道徳」の活用を工夫する。(前期課程)

道徳教育の重点目標

- A 自主的に考え行動する態度を養い、自律性を育成する。
- B 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場を尊重し、助け合う心を育成する。
- C 社会生活を送るうえで人間として持つべき規範意識を身につける。
- D 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する心を育成する。

生徒指導

- 自己理解を深め、自己実現を図るための能力・態度を高める指導の手だてを工夫する。
- 差別や偏見のない、人権尊重の精神の育成に努める。
- 学校、家庭、地域が一貫した指導姿勢をもつための方法を探る。

各学年の重点目標

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
Aの視点	○ 望ましい生活習慣を身に付けることの大切さを自覚し、自らを律し、生活を正す。	○ 高い目標を決め、希望と勇気をもってやり抜く強い意志をもつ。	○ より高い目標に向かってねばり強く取り組み、理想の実現をめざす。	○ 的確な自己理解に努めるとともに、後期生としてあるべき生活態度について考え、実践する。	○ 自己の適性に合った進路を決定し、その達成のために個性や能力、社会性を伸ばそうとする。	○ 最高学年としての自覚と誇りをもって行動するとともに、希望進路の実現をめざして、自己の人生を切り拓いていく。
Bの視点	○ 助け合いの精神を重んじ、生活を支えている人への感謝の気持ちをもつ。	○ 相手の個性や立場を尊重し、いろいろな見方や考え方があることを理解する。さらに、互いのよさを認め、謙虚に他に学び、高め合う。	○ 人間尊重の精神を基盤に、他者に対して思いやりと寛容の心をもって接する。	○ いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、他者の人格を尊重し、思いやりをもって行動する。	○ 日々の生活や現在の自分を支えてくれている多くの善意に感謝し、それにこたえる。	○ 礼儀の意義を改めて理解し、社会人として恥じない立場に応じた適切な言動をとる。
Cの視点	○ 法やまじりの意義を理解し、集団の一員としての役割と責任を果たす。	○ 勤労の貴さや意義を理解するとともに、公共の福祉と社会の発展に、奉仕の精神で努める。	○ 人間としての最低限の規範意識を身につけ、積極的な社会参画の自覚を深める。	○ 学級や学校の一員としての自覚をもち、協力してよりよい校風を樹立する。	○ 勤労の意義を理解し、奉仕の精神をもって、積極的なボランティア活動を行う。	○ 社会の一員としての自覚をもち、社会人としてのマナーをもって行動する。
Dの視点	○ 身近な自然と触れ合い、生命のつながりを自覚して、生命を尊重する心をもつ。	○ 自然の営みに生命を感じ取り、美しいものに感動する豊かな心をもつ。人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深める。	○ 心の弱さや醜さを克服して、自分に恥じない生き方をする。	○ 生命の尊さを理解し、かけがえのない生命をもつ存在として自他を尊重する。	○ 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、畏敬の念を深める。	○ 自分の心の弱さ・醜さに負けない強い心をもち、高い理想に向かって生きようとする。

総合的な学習の時間

- 課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育てる。
- 学び方や、ものの考え方を身に付け、問題解決や探求活動を通じ自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

チューター会経営

- ・一人ひとりを大切にするチューター会づくりをめざし、人間尊重の精神を深める。
- ・心の交流を図り、互いに認め合う関係づくりに努める。

道徳科の時間 (前期課程)

生徒が、ねらいとする道徳的価値を理解し、自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる時間をめざす。

- ・ 多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫
- ・ 心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫
- ・ ゲストティーチャー、チームティーチング等指導方法の工夫
- ・ 「私たちの道徳」の活用の工夫

教育環境の整備

- 生徒の豊かな心育て、道徳的実践意欲を高めるような環境づくりをする。
- ・ 生徒と教師、生徒相互の望ましい人間関係づくり
- ・ 図書館の整備、充実

豊かな体験活動

- 全教育活動において、道徳的実践を促したり、道徳的実践力を培ったりするための豊かな体験の場を充実する。
- ・ 人、物、自然とのふれあい
- ・ 各教科の学習
- ・ 総合的な学習の時間の学習
- ・ 道徳の時間の学習(前期課程)
- ・ 職場体験(インターンシップ)を通じての学習
- ・ ボランティアを通じての学習
- ・ 異文化体験を通じての学習

家庭・地域等との連携

- 学校、家庭、地域三者の相互理解を深め、交流を密にし、協力体制を整える。
- ・ 学校公開日、授業参観、保護者会
- ・ 学校だよりの作成・発行
- ・ 地域行事への積極的なかわり